

北九州市教育行政総合計画“いきいき学びプラン”について

1 計画の目的

子どもから高齢者まで、すべての市民が生き生きと学び、健やかで豊かな生活を送ることができるようにする。

2 計画の性格

これまでの「北九州市教育改革プラン」をはじめとした教育行政計画の成果を検証するとともに今後の課題を整理し、さらに「教育の北九州方式検討会議（答申）」の趣旨の実現を図るために、数値目標を設定した教育行政全般を対象としたアクションプラン。

3 計画期間

平成18年度～平成22年度（5か年計画）

4 計画の体系

施 策 名 称	事業数	事業数		
		新規	拡充	継続
たくましく健やかな子どもの育成	50	20	7	23
1 健康な体づくり	7	5	0	2
2 確かな学力の向上	9	2	2	5
3 豊かな心の醸成	15	3	1	11
4 個性や特性を伸ばす教育	19	10	4	5
市民の健康と生きがいづくりの支援	24	3	1	20
1 市民の健康づくり	7	2	0	5
2 生涯学習の推進	8	0	1	7
3 共生の教育の推進	3	0	0	3
4 潤いのある文化空間の提供	6	1	0	5
学校・家庭・地域の教育力活性化	57	25	1	31
1 学校の力を高める	21	11	0	10
2 家庭の教育力を高める	9	6	0	3
3 地域の教育力を高める	15	3	1	11
4 教育基盤の整備	12	5	0	7
合 計	131	48	9	74

5 今後の課題解決のための最重点・重点事業

(最重点事業、 重点事業、 マ マニフェスト)

施策名称	課題解決のための最重点・重点事業
<p>たくましく健やかな子どもの育成</p>	
<p>マ子どもの未来をひらく教育改革会議</p>	
<p>1 健康な体づくり</p>	<p>体力アップ推進事業 (体育科・保健体育科学習の充実、マラソン大会、一輪車・竹馬の級検定実施等) 子どもの健康・体力づくり推進事業(ジュニアスポーツ体験教室、健康体力づくり教室等の開催) 学校における食育の推進 マ総合的な食育施策の推進(食育推進計画の策定) マ学校給食の改善(小学校給食の食器改善、中学校給食のあり方の検討)</p>
<p>2 確かな学力の向上</p>	<p>新学力向上推進事業 (基礎学力の向上をめざした学びチャレンジプランの推進) 子どもの読書活動の推進 マ少人数学級の実施</p>
<p>3 豊かな心の醸成</p>	<p>生徒指導の充実 マいじめ撲滅のための市費講師配置事業 非行防止活動の推進 (シンナー等乱用防止対策、青色パトカー配置) 心に響く道徳教育の推進(心のノートの活用、伝統文化体験)</p>
<p>4 個性や特性を伸ばす教育</p>	<p>環境教育推進事業 北九州中央高等学園における職業教育の充実 新しい時代に対応した公立幼稚園の設置 (幼保一体化施設の整備) (仮称)北九州市特別支援教育推進プランの策定</p>
<p>市民の健康と生きがいづくりの支援</p>	
<p>1 市民の健康づくり</p>	<p>総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業 「ニューウェーブ北九州」の育成支援</p>
<p>2 生涯学習の推進</p>	<p>地域の主体による生涯学習事業の推進</p>
<p>3 共生の教育の推進</p>	<p>人権教育の推進</p>
<p>4 潤いのある文化空間の提供</p>	<p>博物館等の企画展充実事業</p>

学校・家庭・地域の教育力活性化

<p>1 学校の力を高める</p>	<p>教員評価システムの導入(自己評価、自己申告の実施) マイスター教員の認定と活用(指導力に優れた教員の活用) 学校運営ダイエット作戦(学校業務の簡素化・共同実施) 学校大好きオンリーワン事業(北九州「一校一色」運動推進) マ学校裁量をいかした教員(講師)の活用 学校の危機管理体制の確立 (通学路の安全点検、危機管理研修の実施) 安全教育の充実(防犯教室、薬物乱用防止教室の実施) 通学路の安全対策(登下校時の見守り活動、通学路安全マップ)</p>
<p>2 家庭の教育力を高める</p>	<p>子どもの生活リズム向上プロジェクト (早寝・早起き・朝ごはん運動の推進) 北九州市子どもを育てる10か条の普及促進活動</p>
<p>3 地域の教育力を高める</p>	<p>学校ファミリー事業(地域・家庭・学校の連携促進) 総合的な放課後対策事業(マ放課後子どもプランの推進) マスクールヘルパーの配置・充実</p>
<p>4 教育基盤の整備</p>	<p>マさわやかトイレ整備事業 マ学校施設の耐震化 マ小中学校改築事業 マ学校施設ふれあい事業 マ体育施設のあり方検討</p>

6 進捗状況（指標(目標値)の状況）

指標項目名称	現況値 (H17年度数値)	目標値(将来値)	H18年度実績
新体力テストの結果	全国平均以下	全国平均	全国平均以下
学力検査の結果	全国平均	全国平均以上	全国平均 ただし全国平均の下 位層にとどまっている
青少年ボランティア ステーション参加者	1,690人	2,500人	2,686人
H19年度以降は、前年度実績を上回ることを目標に取り組む。			
不登校出現率	0.84% H16年度数値	全国平均より少なく (全国 1.14%)	0.80% (全国 1.17%)
H19年度以降は、全国平均及び本市の前年度実績を下回ることを目標に取り組む。			
シンナーに関する110番通報	757件 H16暦年数値	680件	336件 H18暦年数値
H19年度以降は、前年度実績を下回ることを目標に取り組む。			
特別支援教育コーディネーター 養成数	90人	203人	230人
平成19年度以降は、初級レベルの研修受講者数を426名(学校数の2倍)以上とし、実践的 指導力のさらなる向上を図る。			
ブックスタート事業の絵本配布	50%	70%	61.7%
スクールヘルパー登録者	4,885人	6,200人	5,754人

7 具体的な取り組みと課題

(1) 具体的な取り組み

家庭における生活習慣や学習の大切さを啓発する「家庭学習のすすめ」を全児童生徒の家庭に配布するなどの学びチャレンジ宣言の実施

少人数・習熟度別指導、いじめなどの生徒指導、特別支援教育など、学校の課題に応じ、弾力的に活用できる市費講師の配置拡充

総合的な食育を推進するため、「食育推進会議」を設置し、本市食育推進計画の策定と中学校給食のあり方についての検討着手

北九州市立高校でスポーツや文化・芸術分野で優れた才能を持つ生徒の推薦入学枠及び特待生奨学金制度の創設

子どもを育てる10か条の普及促進や早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的生活習慣づくりを地域ぐるみで取り組む子どもの生活リズム向上プロジェクトの展開

教員一人ひとりの意欲を引き出し、能力を向上させ、もって学校組織を活性化させることをめざし、自己評価・自己申告と、評価者による評価を実施する教員評価システムの本格実施

保護者等からの苦情・相談への対応を行う学校支援ライン及び学校で起きたトラブル等の相談に弁護士、精神科医など専門家が対応する学校支援チームの設置

知的障害児への社会的自立を支援するため実践的な職業教育に取り組む高等部単独の特別支援学校である北九州中央高等学園の開校

(2) 課題

全国平均並みの学力や全国平均以下の体力を向上させる取り組みの推進

本市独自の小学校段階からの英会話体験学習や情報教育を円滑に中学校に接続させるといった学校間の連携など、子どもの優れた特性のさらなる伸長

特色ある学校づくりを推進するため、学校評議員制度のさらなる活性化や優れた技能を持つ人材を特別非常勤講師として活用するなど、学校の力をさらに高めること。

子どもたちの見守りや学習を支援するスクールヘルパー活動に参加する地域住民の裾野を広げるなど、地域の教育力を生かし、学校や地域の教育活動を市民の力で支えていくこと。

いじめや不登校、青少年の健全育成への対応としての規範意識の醸成など、子どもの心の育ちの促進

LD、ADHD、高機能自閉症等を含む児童生徒に関する支援体制の構築など、特別支援教育の充実